

# 後志教育

No. 19

後志教育研修センターだより  
平成21年10月 7日発行  
TEL0136-22-1337  
FAX0136-22-2681

## 第64回 道立研究所連盟

## 研究発表大会後志大会終了

9月17(木)・18日(金)の二日間、第64回道立研究所連盟研究発表大会が倶知安町で12年ぶり開催され、無事成功裏のうちに終了することができました。道内の研究所、研修センターの関係者が105名集まり、発表大会が実施されました。

1日目は、道研連の共同研究発表、大会記念講演会が実施されました。共同研究発表では、北海道の広域性を踏まえた校内研修への支援及び研修事業の工夫・改善という視点で昨年度、蘭越三和小学校での実践(大学等の関係機関との連携)が研究部長の佐々木所員より紹介されました。

また、記念講演では講師に国立教育施策研究所研究企画開発部総括研究官 千々布敏弥氏を講師に「これからの教育センターの役割」という演題で二時間ほど話していただきました。講演の中で特に力説されていたのは、日本の各学校で取り組まれている校内研修は、ほとんどが授業公開を中心に行われているけど、どこでも授業が終わりそこで満足して研修が終わることがほとんどであること。客観的なデータの積み重ねが少ないこと。教育センターに関しては、所員の異動が早くなって研究上の交流が成立しずらくなってきていること。市町村においては、教育センターを中心に勤務時間外の研修機会の提供、研修に



記念講演 千々武敏弥氏



部会まとめの発表をする佐々木研究部長

に関する情報提供、指導者の派遣等に教員の自主的・主体的研修活動を奨励・支援するよう努めることが必要であること。などでありました。後志教育研修センターとしても今後のセンター運営に参考になる内容であったと感じ取りました。

情報交換会も開かれ、道内各地の教育研究所・センターの関係者が一堂に会し、それぞれの取組・課題等について交流が深められました。

後志教育局長 福島町長、小野寺教育長の出席もあり、会を盛り上げていただきました。

二日目は、3つの部会に分かれての研究協議でした。第1部会「学びの部会」第2部会「学校支援の部会」第3部会「在り方の部会」に分かれて熱心な協議が行われました。特に学びの部会では後志教育研修センターで取り組んできた共同研究「自ら考える力を育む学習指導の工夫」を発表する機会が与えられ、古館、竹内、渋谷所員3名が代表して取組の成果と課題について発表しました。



後志の取組を発表する竹内所員

二日間、晴天にも恵まれ道内各地から来られた方々に、秀峰羊蹄、ニセコ連山のすばらしさを感じ取っていただけました。

大変お忙しい中、所員の所属する各学校においては大変ご迷惑をおかけしたとは思いますが、所員のチームワークで無事終了できたことも報告させていただきます。ありがとうございました。

## これからの研修講座

今年度の研修講座残り 3 講座

### 道徳教育研修講座 10月30日(金)

- 講師 春日 高明(蘭越中) 齋藤 直哉(倶知安西小) 教育局
- 研修内容 新学習指導要領における道徳教育のねらいと指導の課題。児童生徒の実態を考慮した道徳の計画作り。

### 英語科研修講座 11月 5日(木)・6日(金)

- 講師 小原 明彦(小樽塩谷中) 佐藤 詩子(東陵中) 教育局
- 研修内容 英語科のねらいと英語科指導の今日的な課題 コミュニケーション能力と表現力を高める指導の工夫 基礎基本を定着させるための指導 授業実践等
- ※ 2日目は塩谷中学校において授業が公開され、研究協議も行われます。小樽の英語担当の先生方参加しませんか。受付は教育委員会を通してセンターへ

### 国語科研修講座 11月 10日(火)・11日(水)

- 講師 原田 益明(黒松内小) 須貝 満恵(共和中) 教育局
- 研修内容 新学習指導要領における国語科のねらいと国語科指導の今日的な課題 学びを高める基礎・基本の定着と指導の在り方 個性を生かし、豊かな表現力をはぐくむ指導の在り方 授業実践等
- ※ 研修会場は、授業を公開する関係で1日目共和中学校、2日目黒松内小学校となります。お間違えないようにお願いします。今年度最後の研修講座となります。お忙しいとは思いますがたくさんの参加を期待しております。

教頭先生、研修担当の先生、校内回覧よろしく  
くお願いします。